



進化する！次年度研修講座（その2）申し込みが変わります！

申し込み・受講決定の変更点にご注意ください！

次年度から、基本研修・ミドルリーダー養成研修以外の研修講座の申し込み・受講決定については、先着順、定員になり次第締め切りとなります。また、申し込み開始日と締め切り日が例年とは異なりますのでご注意ください。（右図参照）

受講を希望される方は、管理職の方を通して早めの申し込みをお願いします。

受講対象	研修講座の区分	開催時期等	申し込み	
			開始	締め切り
該当者のみ	基本研修	4~7月	4/1(金) 9:00~	
希望者	[公開講座]明日からできる生徒指導実践講座	5/19	4/7(木) 9:00~	4/13(水)
	[専門研修]学校組織マネジメント講座	5/31		
先着順で 受講決定	1期[専門研修・出前講座・ワンポイント出前セミナー]	6/9~7/8	5/16(月) 9:00~	5/27(金)
	2期[専門研修・出前講座・ワンポイント出前セミナー・公開講座]	7/21~		7/1(金)

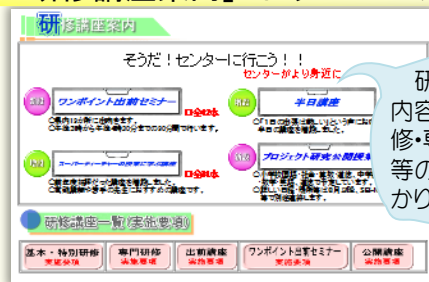
※「特別研修(小・中学校ミドルリーダー養成研修等)」「10年経験者研修」については、別途の申し込みになります。

受講を予定されている方へ

3月末に教育センターWeb「研修講座案内」を更新します。研修講座実施要項をご覧になって、受講する研修講座を選んでください。また、4月中には、講師名を記載した実施要項をWebアップする予定ですので、研修講座を選択する際の参考にしてください。

受講申し込み及び受講の可否については、申し込みの手続きを担当される管理職の方へお尋ねください。

「研修講座案内」トップページ



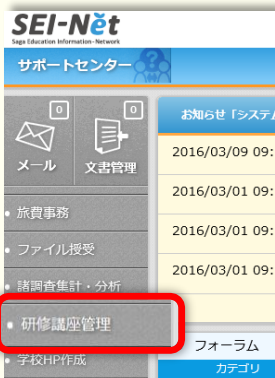
研修講座の内容や基本研修・専門研修等の違いが分かります！

<http://www.saga-ed.jp/tanken/kouzaannai/index.html>

管理職の方へ - 申し込みにあたっての留意事項 -

SEI-Netのトップ画面の「研修講座管理」より直接申し込んでください。申し込み先着順で受講決定となりますので、申し込み手続きが完了できた時点で「受講可」となります。

手続き後は、受講を希望されている方に、受講の可否を速やかにご連絡ください。



申し込みはSEI-Netから！

SEI-Net「研修講座管理」での申し込みにあたって

Q 「研修講座」に関するマニュアルは？

A 「研修講座管理」からダウンロードすることができます。また、3月25日配布予定の「SEI-Netの研修講座管理による申し込みについて【簡易版マニュアル】」もご活用ください。

Q 10年経験者研修の申し込みは？

A 「研修講座管理」での申し込みはできません。教育政策課配布の『(平成28年度版)10年経験者研修の手引き』に従ってください。

Q 基本研修の該当者がいない場合は？

A 「研修講座管理」より該当者なしの手続きを行ってください。

SEI-Net「研修講座」の操作の問合せは…ヘルプデスクへ (TEL: 0570-055-355)

教育センターでは、実践につながる研修講座をさらにたくさん用意して、先生方をお待ちしています。詳細な内容については、教育センターWebの実施要項(3月末配信予定)をご覧ください。

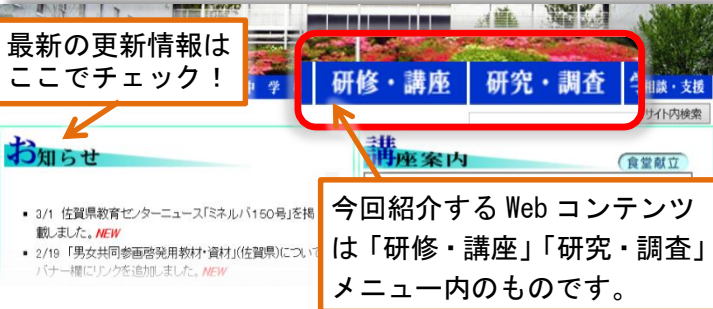
「研修講座」に関するお問い合わせは…短期研修担当へ (TEL: 0952-52-5212)

間もなく更新!

センターWebコンテンツが充実します!

教育センターWeb トップページ

最新の更新情報は
ここでチェック!



3月の教育センターWebでは、今年度の研究成果や講座授業事例などの教育センターの様々な取り組みを学校の先生方に役立つ形でご提供します。

Webコンテンツのうち、今回は「授業に役立つ実践研究」「講座授業事例集」「研究紀要検索」について紹介します。いずれも、3月末までに更新する予定です。次年度の授業づくりや校内研究等で、是非お役立てください。

授業に役立つ実践研究

今年度も旬な情報が満載です!

教育センターでは、県内の教育課題や学校のニーズに応じて、実践的な研究を進めています。今年度も、その成果を研究情報としてWeb発信します。

資料(授業で使える指導資料やワークシート等)は、利用上の注意を確認の上、ダウンロードして、授業等でどんどん活用してください。

こんな先生方に!

- 子供が主体的に学ぶ授業づくりを知りたい。
- 子供たちに、学力を身に付けさせたい。
- 新しい指導法や題材、評価についても知りたい。

授業に役立つ実践研究



学校の先生方とセンター所員がプロジェクトチームを組んで取り組む研究で、検証授業や公開授業等を通じてより実践的な提案に努めています!

プロジェクト研究

校種・研究内容	研究テーマ
小・中・高等学校教育相談	支え合う人間関係を築くための支援の在り方 -ピア・メディエーションの活動プログラムの開発-(2年次/2)
小・中学校授業改善	佐賀県小・中学校学習状況調査等から見える課題の解決に向けた授業改善(1年次/2) 【小学校】国語科・社会科・算数科 【中学校】国語科・社会科・数学科・英語科 【小・中学校】理科...理科力向上サポート事業(理サポ)
小・中学校道徳教育	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳科の在り方 -自己の生き方(人間としての生き方)について「考え、議論する」学習を通して-(1年次/2)



小・中・高等学校教育相談研究委員会では2年間の研究をまとめました!

子供たち自身で、子供同士のトラブルを未然に防いだり、自分たちで解決したりしようとするピア・メディエーションの活動プログラムの完成版です!

今年度までの2年間でまとめ上げた、実践に生かせる、授業展開案・ワークシート・資料動画の全てを公開します。新年度に向けた学級づくり・授業づくりに参考となる研究です。

校種の異なるセンター所員でチームを組み、小中一貫、校種のつながりを考慮した授業開発等、実践的な研究です!

個別実践研究

校種・教科	研究テーマ
小学校図画工作科・中学校美術科	(共通事項)を支えとした児童生徒の見方や考え方を深める指導方法の研究 -形や色(色彩)を意識した言語活動を取り入れた指導を通して-
小・中学校音楽科	音楽の特徴を捉えて音楽を聴き味わうことができる児童生徒の育成 -鑑賞学習における(共通事項)を支えとした言語活動の充実を通して-
小・中・高等学校特別支援教育	小・中学校の通常学級及び高等学校における全ての児童生徒が学びやすい授業づくりの在り方 -「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業実践を通して-【継続研究】

※上記以外の校種及び教科・領域の個別実践研究についても随時アップする予定です。ご期待ください!

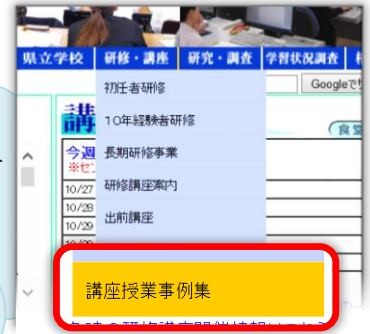
「授業に役立つ実践研究」に関することは・・・研究調査担当へ 0952-62-5214 (直通)

講座授業事例集 所員の授業事例、13本を新たに掲載します！

「講座授業事例集」では、研究協力校3校（春日北小学校・大和中学校・致遠館高等学校）における教科・領域の講座での研究授業について、授業づくりに役立つ授業事例としてWeb公開しています。

当日の学習指導案や授業で使用したワークシート等を掲載しており、先生方からは「授業の構想を練る時の参考になった」「学習指導案やワークシートがダウンロードでき、授業づくりに役立った」等のご意見をいただいています。

今後とも授業づくりの参考として、是非ご利用ください。



こんな先生方に！

- 授業がより活性化するヒントが欲しい。
- 授業内容に合ったワークシートが欲しい。
- 具体的な評価方法が知りたい。

校種	教科・科目、領域	学年	単元・題材
小学校	音楽	4年	せんりつのとくちょうを感じ取るう
	道徳	5年	みんな気持ちよく
	特別活動	3年	1年生といっしょに「みんな笑顔フェスタ」をしよう
中学校	理科	3年	水溶液とイオン
	音楽	1年	音楽の特徴を背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて聴き、よさや美しさを味わおう
	美術	2年	自分の街をデザインしよう！ ～誰にでも分かるマーク(ピクトグラム)づくり～
	技術・家庭科 (技術分野)	1年	日本の電気エネルギーについて考えよう
	英語	2年	Unit 4 "Homestay in the United States"
高等学校	道徳	1年	集合時間は午前八時
	古典B	2年	物語『源氏物語』『光源氏誕生』
	化学	2年	化学反応とエネルギー
	家庭基礎	1年	社会とかかわる
	コミュニケーション英語I	1年	Lesson 5 "Teammates"

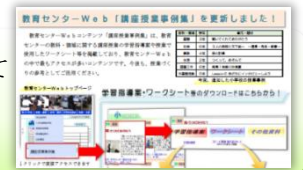
高校家庭科の講座授業事例は…

家庭基礎「社会とかかわる」(1年)

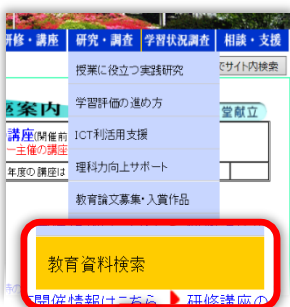


協働的な学びである「知識構成型ジグソー法」を取り入れ、言語活動の充実を図るとともに、地域の課題を主体的に捉え、課題解決に向けて、意欲的に地域の活動に参画しようとする態度を培うことをねらいとした実践です。また、学び合いや思考の過程が可視化できるようなICT機器の活用についても提案しています。

7月までに実施した講座授業については、ミネルバ146号p.3をご覧ください。
※画像をクリックするとジャンプします→



研究紀要検索 閲覧したい研究紀要を手軽に検索できます！



こんな先生方に！

- 論文の作成にあたって、先行研究を知りたい。
- 先進的な実践事例を知りたい。

研究紀要には、理論研究だけではなく、興味深い授業実践等も記載されており、授業づくりのヒントも得ることができます。

図書資料室には、全国の教育センターをはじめ、県内外の学校等から研究紀要が送付されてきており、県内教育関係者の方々が閲覧できるようにしています。Webでは、現在所蔵している紀要のうち、平成9年以降の研究について、所蔵の有無を検索し、要約文等を見ることができます。



今回のWeb更新で、平成27年度の研究紀要も可能になりましたので、最新の教育情報をお探しの際には、ご利用をお勧めします。

研究紀要検索

佐賀県教育センターに所蔵している全国の教育機関の主要な研究紀要は、本教育センター1階図書資料室にて閲覧いただけます。検索結果の画面にある「受入番号」をクリックすると、該当する書籍のキーワードを入力してください。(空白で検索)

発行元(空白でも可) (例:佐賀県教育センター)

受入年(空白でも可) (例:2016)

年度	題名	紀要要約	発行機関
2015-0012	「読者の能力の発達のために小学校から英語の指導を必要とする。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用」	児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。	佐賀県教育センター
2015-0009	「読者の能力の発達のために小学校から英語の指導を必要とする。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用」	児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。	佐賀県教育センター
2015-0010	「読者の能力の発達のために小学校から英語の指導を必要とする。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用」	児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。児童の「音」に慣れさせるための「音」の活用。	佐賀県教育センター

キーワードで簡単に検索できます！

要約文等が表示されます

「長期研修の報告」 & 「最終号発行に寄せて」

平成 27 年度長期研修の集大成です！



研究成果発表会

年度末を迎え、研修もいよいよ大詰めです。

11名の長期研修生は、学校現場において抱えていた教科・領域等における問題意識と佐賀県の教育課題を踏まえ、研究のゴールとなる目指す児童生徒の姿を明確にもち、取り組んできました。学校現場においては日々の忙しさから実践のみに終始してきたところを、教育センターの長期研修において研究に没頭してきました。

3月14日（月）に研修成果発表会を無事終えました。「自分がこの研究で主張したいことは何か」「参観者に伝えるにはどのようにまとめるべきか」に腐心しながら発表内容をまとめ上げました。発表会本番では、長期研修生、一人一人の思いがこめられた成果報告となりました。

今後、長期研修生は学校へ戻り、実践研究を継続していきます。研修報告書は、近日中に Web 公開します。多くの先生方の教育実践の参考になれば幸いです。

研修を振り返って

長期研修では、学校では経験できないことを経験し、多くの貴重なことを学ぶことができました。多忙な中、研究を支えていただいた長期研修担当及び指導担当の方々からは、尽己の姿勢を学びました。また、多くの所員の方からも大変重要な示唆をいただき、教師としての力量を高めることができました。

教育センターで学んだ全てのこと、そして、共に切磋琢磨し合った長期研修生の仲間との絆を胸に、それぞれの所属校に戻った後も、研さんを積み、県内の児童生徒のために、様々な実践を広めていこうと決意を新たにしています。

金丸 大樹 研修生（嬉野市立吉田中学校教諭）

センターWeb「長期研修事業」

これまでの長期研修生の研修内容等について掲載しています。授業づくりのアイデアとして、教育研究を進める上での参考として、是非ご覧ください。



タイムリーで役立つ情報を Web 配信

アンケートのご協力、ありがとうございました！

所長 富吉 猛

教育センターは、学校運営や教育活動に熱心に取り組まれている先生方に、少しでも身近で頼りになる存在であることを目指して、今年度から Web 配信によるタイムリーで役立つ内容の情報発信に取り組んできました。

先月、実施しましたアンケートでは、「ミネルバを読むと有益な情報を得るだけでなく『教育センターが私たちを支えてくれている』という温かい思いを感じる」や「今のように、選りすぐった情報をぱっと見て分かるように、あるいは、センターのホームページに誘うという記事が効果的だ」というような、嬉しいご意見をたくさんいただきました。また、「事務処理の効率化のため、SEI-Net で職員に直接配信してはどうだろうか」「道徳、特別支援教育、教育相談、生徒指導等について、もっと情報を載せてほしい」「いろいろな視点からの本紹介はとても役に立ったので、もっと載せてほしい」等、貴重なアドバイスもたくさんいただきました。

学年末の大変お忙しい時期に、アンケート調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

この度のアンケート結果を分析し、ご提供する内容はもちろん、その方法等についても、先生方のニーズにお応えできるように、今後も「進化」していかなければと、その思いを新たにしました次第です。

教育センターは、平成 28 年度も「学校の応援団」として、研修や研究、学校等支援などにおいて、所員一丸となって全力で取り組んでいきます！



「長期研修事業」に関することは・・・長期研修担当へ 0952-62-5213 (直通)